

建築・設計と屋根を結ぶ情報誌 2008年7月15日発行 (1・4・7・10各月15日の年4回発行) 第51号 平成10年5月27日第三種郵便物認可

屋根と屋根材 ROOF & ROOFING



◆第14回 菱賞
金賞に「北総の家」

◆特集
住宅新法と屋根

◆突撃ルポ
石州瓦と淡路瓦、山陰の工事業

季刊「屋根と屋根材」
2008
夏号
No.51

■「大型物件」とリフォームなど「住宅」の2部門で

小林瓦工業 茨城県常総市

「仕事は途切れることなし」 豊富な商材と工法の提案力で

この建築不況下にあつて、仕事が途切れることなし。営業力の賜だろう。沖縄も商圏とする茨城県常総市の屋根工事業、小林瓦工業(株) (小林宣夫社長) は、①ゼネコンを得意先とした大型物件、②新築住宅やリフォームなどの住宅の両部門でフル稼働という。

同社の年商は5億円。このうち3億円が大型物件。幼稚園や学校、結婚式場、ホテル、福祉施設、さらには社寺と多岐にわたる。強みは、ゼネコンや設計事務所に対する積極的な営業活動に加え、手持ちの豊富な商材と工法の提案力にある。三州産(愛知)や淡路産の粘土瓦をはじめ、欧米の輸入屋根材などを、当該物件の仕様に応じ適宜、提案する。

沖縄で8物件「ポリフォーム」

最近で言えば、この4月にリニュ

アルオープンした日本最古の遊園地とされる「あさくさ花屋敷」。その施設の屋根には三州いぶし瓦6000枚が使われた。川崎市の信用金庫の新築工事では、淡路いぶし瓦の一字。軒先の施工は、地震や強風に威力を発揮する米国製の屋根瓦接着剤「ポリフォーム」で瓦を固定した。

最近、このポリフォーム工法の提案で施工実績が増えてきている。とくに大型台風に見舞われる沖縄では、新築住宅をはじめ、1万3000㎡の台風被害改修工事の大型物件など8物件を手がけた。本州では2物件。屋根材は、釉薬瓦和形、スペイン瓦、S形瓦など色々。

同社では、天然石粒付きのガルバリウム鋼板など金属系屋根材も積極的に扱う。洋瓦の輸入先は、おもにイタリアやフランス、スペインなど。フランスの瓦は、粘土瓦メーカーの



小林社長

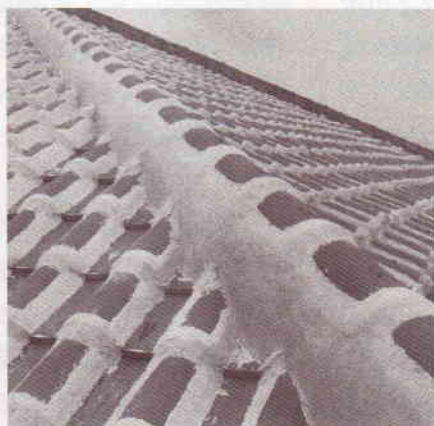
最大手、イメリス社からも輸入する。中国からはおもに天然スレート。

月30件の「屋根の無料診断」

新築住宅では、大手住宅会社は避けて、得意先は地域ビルダーが多い。リフォーム受注では、「待っていても仕事は来ない」。住宅リフォーム会社やホームセンターなどと提携し、月に30件ほど「屋根の無料診断」を行っている。このうち5~6割ほどが実際の仕事に結びつくという。

その際の見積り提案では、①補強、②屋根の全面葺き替え、③既存の屋根の上に新しい屋根材を二重葺きしてしまう「カバールーフ工法」とメニュー化している。

営業で全国を精力的に飛び回っている小林社長は34歳。抱負は「屋根で地域ナンバーワンになる」こと。従業員は13名、沖縄には6名の施工部隊をもつ。



「ポリフォーム」の施工例。白漆喰瓦屋根が特長の沖縄で

耐久性に優れた瓦接着工法「ポリフォーム」 コンシャスが27社で代理店会

地震や台風に威力を発揮する米国製の屋根瓦接着剤「ポリフォーム」。総発売元、(株)コンシャス(本社・神戸市、武智敬太郎社長、078・752・3736)はこのほど、おもな屋根工事業や粘土瓦メーカーなど計27社で「ポリフォーム日本代理店会」を立ち上げ、その普及拡大に乗り出した。

2年前に設立した「老舗屋根屋さんのリフォーム・ネットワーク」を発展的に解消、さる4月に新神戸で代理店会の設立総会を開き、再出発したもの。会長に渡邊純一氏(瓦寅工業(株)社長、大阪市)が選ばれた。

代理店会メンバーは、正会員として茨城から熊本まで大手屋根工事業を中心に16社、賛助会員として三州、淡路産地の大手メーカー、下葺材メーカーや金属屋根材販売など9社、特別会員として輸入元のコンシャスと製造元である米国・ポリフォームプロダクツ社(本社・テキサス州)の2社。

代理店会では、ポリフォームを「儲かる商材」「屋根の新しいビジネスチャンス」として拡販を図っていく。

ポリフォームは、1992年にアメリカで瓦屋根のハリケーン対策として開発され、2002年にグアム島を襲った超大型台風(最大風速80m)でもびくともせず、その耐風性能を実証した。日本では、沖縄・米軍基地住宅を手始めに、過去8年で瓦屋根を中心に200件強、約10万㎡の施工実績があるという。

ポリフォームは、2液性の硬質ポリウレタンフォーム(樹脂発泡体)。



棟瓦の施工も銅線、ビス、土、モルタルなどを使用せず可能



渡邊会長



武智社長

儲かる商材 新しいビジネスチャンス

その特長は、「接着性や防火性、耐久性、施工性に非常に優れている」こと。キットに同梱の専用ガンで接着剤を野地に吹き付け、約3倍に膨らんだ発泡体に瓦を固定していく。接着強度は2時間で90%、24時間で100%出るといふ。

平部では釘やビスを使わず施工できるため「雨漏り無し」。また、「のしを高く積む和形瓦屋根の棟部の施工にも最適」。瓦のほか、金属系、シングルなど屋根材を選ばずに使用でき、急勾配屋根でなければ桧木無し工法、既存の化粧スレート屋根へのカバー工法、さらにマット工法にも対応できる。

瓦屋根標準設計・施工ガイドライ

ン工法の耐風・耐震試験をらくらくクリア、(財)日本建築総合試験所の試験でも、その高い耐風性能が実証されたという。

同社試算による在来工法とのコスト比較では、桧木使用で若干高くつき、マット工法では安く、カバー工法と同程度。

コンシャスでは、施工者に半日の施工講習を義務づけている。施工資格認定者はこれまで200名強。

▽会長/渡邊純一(瓦寅工業(株)・大阪市)
▽副会長/石井二郎(柳山陽瓦・倉敷市)、
谷口正樹(柳家根源・神戸市)▽理事/
小林宣夫(小林瓦工業(株)・茨城県常総市)
▽監査/宮崎昌浩(南やね匠・長崎県南
島原市)▽常任理事/武智敬太郎(株)
コンシャス)